

永遠の真理

ETERNAL TRUTH



2022 年 9 月

「神のみかたちを回復する」「神の異なったわざ（Ⅲ）」「教会と残りの民（Ⅰ）」
「人參ドレッシング」

永遠の真理

いま永遠の真理の土台の上に堅く立ちなさい。(3T p.45)

目次

今月の聖書勉強

「神の異なったわざ(Ⅲ)」

4

聖書の教え

朝のマナ

神のみかたちを回復する

6

Restoring the Image of God

現代の真理

「教会と残りの民(Ⅰ)」

38

Good Way Series- 正道 -

力を得るための食事

「人参ドレッシング」

42

レシピ

お話コーナー

「沈黙をやぶる—歌(Ⅱ)」

44

聖書物語

【正丸教会】

〒368-0071 埼玉県秩父郡横瀬町芦ヶ久保 1607-1
電話：0494-22-0465

【沖縄集会所】

〒905-2261 沖縄県名護市天仁屋 600-21
電話：0980-55-8136

発行日 2022年8月7日

編集&発行 SDA 改革運動日本ミッション

〒368-0071 秩父郡横瀬町芦ヶ久保 1607-1

Illustrations: Sakusabe on Front page; Sermon View on
page 48

アクセス www.4angels.jp

メール sdarm.shomaru@gmail.com

Printed in Japan

有能さと熱心さ

無力、無関心は信心ではない。われわれは、自分が神のために働いていると認めるとき、靈的奉仕の神聖さについて、以前持っていたより更に高い感覚を持つようになる。これを体得するとき、すべての義務の遂行に生命と注意深さとしんぼう強い精力が注ぎ込まれる。

時代は更に実力を高め、献身を深めることを要求している。ああ、わたしはこの問題で胸がいっぱいになり、こう神に叫ぶ。「立ち上がり、責任感に満ちた使者たちをつかわしたまえ、あらゆる罪の根本に横たわる自己崇拜の心を十字架につけた使者たちを」と。…

行き当たりばったり主の働きに携わって、成功を望んではいけない。主は知的人々、思索的な人々を求めておられる。イエスは、そこつ者でなく、共労者を求めておられる。神は救霊のために必要な、たいせつな働きをしてもらうために正しい思想を持つ、知的な人々を求めておられる。

ある人々は心を働かすことによってこれを訓練する必要がある。考えるように心を仕向けなければならない。困難な問題を解決してもらおうと、自分の事を考えてくれる人にたよっているかぎり、また、頭を使って考えることを拒むかぎり、記憶力、予想する力、識別する力に欠けた状態が続くであろう。知的教育をするためにのおのおのはあらゆる努力をしなければならない。…

神のしもべたちは研究に勤勉で、知識を習得することに熱心でなければならない。決して一時間でもむだにしてはならない。しんぼう強い努力を重ねてキリストチャンとして、力と感化力のある人としての高い位置に達することができる。…

固い決心をもって、たゆまぬ努力を重ね、注意深く時間を節約するならば、知識と知的訓練を受けることができ、どのような地位にでも適した者となり、よい感化を及ぼし、りっぱに役立つ人物となるのである。…

神と共に働く者となることを願っている者は、体のすべての器官と精神の能力とを完全な状態にするように努力しなければならない。…

機械工・法律家・商人などあらゆる商売や専門的な仕事に携わる人々は、自分の仕事に熟達するよう教育を身につける。キリストに従う者たちはそれより劣ってよいだろうか、また、神の奉仕に専門的に携わっていながら、従事する方法や手段に無知でいてよいだろうか。永遠のいのちを得る計画はこの地上におけるどんな事よりもたいせつなものである。…人々を真理の大いなる主題に近づける方法を知るには、深く考え、熱心に祈る必要がある。(キリストチャン奉仕 322-327)

第29課 神の異なったわざ(Ⅲ)

千年期の終わり

1. 救われた人々と新エルサレムと共にイエスは戻ってこられる

イエスは贖われたすべての人と共に、無人の地球に戻ってこられます。「その日には彼の足が、東の方エルサレムの前にあるオリブ山の上に立つ。そしてオリブ山は、非常に広い一つの谷によって、東から西に二つに裂け、その山の半ばは北に、半ばは南に移り、わが山の谷はふさがれる。裂けた山の谷が、そのかたわらに接触するからである。そして、あなたがたはユダの王ウジヤの世に、地震を避けて逃げたように逃げる。こうして、あなたがたの神、主はこられる、もろもろの聖者と共にこられる」(ゼカリヤ 14:4, 5)。

千年期の終わりにイエスが再臨なさるとき、それによってオリブ山が大平原のように平らにされます。そこに新エルサレムが下ってくるための基礎が敷かれます。

「また、聖なる都、新しいエルサレムが、夫のために着飾った花嫁のように用意をととのえて、神のもとを出て、天から下って来るのを見た。また、御座から大きな声が叫ぶのを聞いた、「見よ、神の幕屋が人と共にあり、神が人と共に住み、人は神の民となり、神自ら人と共にいまして」(黙示録 21:2, 3)。

2. 悪人たちがよみがえり、サタンが解放される

「... その後、しばらくの間だけ解放されることになっていた。」(黙示録 20:3)。

千年期が終了し、悪人の裁きの最終段階が完了するとき、悪人たちの全般的な復活があります。これが第二の復活です。

「(それ以外の死人は、千年の期間が終るまで生きかえらなかった。)... 千年の期間が終ると、サタンはその獄から解放される。そして、出て行き、地の四方にいる諸国民、すなわちゴグ、マゴグを惑わし、彼らを戦いのために召集する。その数は、海の砂のように多い」(黙示録 20:5, 7, 8)。

イエスの再臨の時に滅びた悪人たち、加えてすべての時代の悪人たちは、神の義の正当性が認められるために、よみがえらされます。再び、悪人たちは悪を行い、反逆に続くという断固とした目的を表し、その時、神は罪から生じた一切のしみを完全に消滅なさいます。

「彼らは囚人が土ろうの中に集められるように集められて、獄屋の中に閉ざされ、多くの日を経て後、罰せられる」(イザヤ 24:22)。

「それは主がこう言われたからだ、「全地は荒地となる。しかしわたしはことごとくはこれを滅ぼさない」(エレミヤ 4:27)。

最後の裁き

「千年の期間が終ると、サタンはその獄から解放される。そして、出て行き、地の四方にいる諸国民、すなわちゴグ、マゴグを惑わし、彼らを戦いのために召集する。その数は、海の砂のように多い。彼らは地上の広い所に上ってきて、聖徒たちの陣営と愛されていた都とを包囲した」(黙示録 20:7-9)。

サタンは第二の復活においてよみがえった悪人たちと共に下ってきたばかりの神の都を最終的に取り囲むために、地上の国々を惑わし、結集することができません。彼は大きな都を取り囲んで自分の軍隊を配備します。

「彼らは地上の広い所に上ってきて、聖徒たちの陣営と愛されていた都とを包囲した。すると、天から火が下ってきて、彼らを焼き尽した。そして、彼らを惑わした悪魔は、火と硫黄との池に投げ込まれた。そこには、獣もにせ預言者もいて、彼らは世々限りなく日夜、苦しめられるのである」(黙示録 20:9,10)。

悪人たちを滅ぼした火は、同時に、地を清めます。罪の跡が残ることはありません。神は、清めの火の灰から、新しい地を創造なさいます。

「しかし、主の日は盗人のように襲って来る。その日には、天は大音響をたてて消え去り、天体は焼けてくずれ、地とその上に造り出されたものも、みな焼きつくされるであろう」(ペテロ第二 3:10)。

「わたしはまた、新しい天と新しい地とを見た。先の天と地とは消え去り、海もなくなってしまった。...『見よ、わたしはすべてのものを新たにする』」(黙示録 21:1, 5)。

「それから、死も黄泉も火の池に投げ込まれた。この火の池が第二の死である。このいのちの書に名がしるされていない者はみな、火の池に投げ込まれた」(黙示録 20:14, 15)。

罪の最後の一片が燃やし尽くされるときに、預言が完全に成就します。

「また、あなたがたは悪人を踏みつけ、わたしが事を行う日に、彼らはあなたがたの足の裏の下にあって、灰のようになると、万軍の主は言われる」(マラキ 4:3)。

サタンによる悪の働きは完全に終わりました。もはや誘惑も、罪もありません。試された忠実な神の民は、新地の安全と平安の中で永遠に住むのです。地は、以前の完全な状態へと再創造されます。

「ああ深いかな、神の知恵と知識との富は。そのさばきは窮めがたく、その道は測りがたい」(ローマ 11:33)。

「全地はやすみを得、穏やかになり、ことごとく声をあげて歌う」(イザヤ 14:7)。

神のみかたちを回復する

Restoring the Image of God



9月

わたしたちの生きた機械

清い聖なる宮

「あなたがたは知らないのか。自分のからだは、神から受けて自分の内に宿っている聖霊の宮であって、あなたがたは、もはや自分自身のものではないのである。あなたがたは、代価を払って買いとられたのだ。それだから、自分のからだをもって、神の栄光をあらわしなさい。」（コリント第一 6:19,20）

なぜ男女は自分たちの体力、知力、道徳力にはっきりと影響を及ぼすこれらの事柄を読み、知的にならないのであろうか。神はあなたに、ご自分の奉仕と栄光のために管理し、最高の健康状態を保つべき住まいを与えてこられた。（教会への証 2 巻 352）

身体をどのようにして最高の健康状態を保つかを知ることは義務であり、神が恵み深くも与えておられる光に従って生きるのは聖なる義務である。もしわたしたちが捨てたくない過ちを見るのを恐れて目を閉じるなら、わたしたちの罪は減じるところか増し加わる。もしある場合に光に背を向けるなら、次には無視される。身体の法則に違反するのは十戒の一つを破るのと同じ罪である。なぜならわたしたちは神の律法を破らないではいずれもできないからである。わたしたちは主を愛する以上に自分の食欲、嗜好を愛していながら、心をつくし、精神を尽くし、思いを尽くし、力を尽くして主を愛することはできない。（同上 70）

神が導いておられる民は特別な民であり、世の者とは似ていない。……キリストがその心に住まわれる。神の宮は聖なるものであり、使徒は、あなたの身体は聖霊の宮であると言う。神は、体力の害となるような自己否定をするようにとご自分の子らに命じてはおられない。このお方は自然の法則に従い、身体を健康に保つようにと要求なさる。自然の道はこのお方が計画しておられる道であり、どのクリスチャンにとっても十分広い道である。神は、惜しみないみ手をもって、わたしたちの生命維持と楽しみのために、豊かでさまざまな恵みを備えておられる。しかし健康を保ち、命をながらえる自然の食欲を楽しむために、このお方はわたしたちのために食欲を制限される。このお方は、用心しなさい、不自然な食欲を抑え、否定しなさい、と言われる。もしわたしたちが誤った食欲を造りだすなら、身体の法則に違反し、身体を乱用し、自らに病をもたらす責任を負うのである。（同上 3 巻 63）

9月2日

神はわたしたちが 恵まれているようにと望まれる

「愛する者よ。あなたのたましいがいつも恵まれていると同じく、あなたがすべてのことに恵まれ、またすこやかであるようにと、わたしは祈っている。」(ヨハネ第三 2)

人々が自分たちの苦しみを主のせいにするとき、主はご自分に投げかけられる考えによって、栄光をお受けにならない。なぜなら主はご自分の民の苦しみや死を喜ばれないからである。このお方は彼らが行動の正しい道を追求し、自分たちが健康でいられるように気をつけ、どのようにすまいを秩序正しく保つことができるかを知ることが望まれる。もしわたしたちが健康を保つことができる単純な法則に聞き従うことを怠って、その法則を犯し続け、正しい習慣を培うことに失敗するなら、主はわたしたちの病気を癒すために奇跡を行うことはなさらない。主が生きていてほしいと思われた人々が、今墓の中で眠っている。彼らは知識が欠けていたために自分を滅ぼした。彼らは多くの点において教えられていたが、自分たちに与えられた知識を実践するのに失敗した。しかしわたしたちは、この世での報いを刈り取り、来世の永遠の命を得るために、光の中を歩みつつ、あらゆる欠点を克服しつつ啓発されたクリスチャンになろう。(クリスチャン教育 133)

〔神の子ら〕は、少しも精神力、体力を無駄にすることはできない。

どのように健康を保つかという問題は、最も重要な問題の一つである。わたしたちが神への恐れの中にこの質問を研究するとき、食事の単純さに気づくことがわたしたちの身体的、霊的向上のどちらにも最上であることを学ぶ。わたしたちがこの事柄で賢く行動するためには、知識と分別が必要である。自然の法則には抵抗するのではなく従うべきである。

肉、茶やコーヒー、濃厚で不健康な食物を用いる害悪に関して教えを受けている人々、犠牲によって神と契約しようと決心している人々は不健康であると知っている食物への食欲にふけることを続けはしない。食欲は清められ、良くないそれらのものに関して自己否定が実践されるべきであると、神は命じられる。これは神の民がみ前に完全な民として立つことができる前になさねばならない働きである。(教会への証 9 巻 153,154)

いやされる時を待ち望む

「われわれは平安を望んだが、良い事はこなかった。いやされる時を望んだが、かえって恐怖が来た。」(エレミヤ 8:15)

多くの学生が、食事が健康に多大の影響力を及ぼすという事実に嘆かわしいほど無知である。ある者は食欲を制するために、あるいは食事に関する適正な規則に従うために断固とした努力をしたことがない。彼らは食事の時にすでに食べすぎ、さらにある者は誘惑が差し出されればいつでも食間に食べる。もしもクリスチャンと公言する者が自分たちを非常に悩ませる問題すなわちなぜ自分たちの思いがそれほど鈍く、宗教上の向上心が弱いかという問題を解決したいと望むなら、多くの場合、彼らは食卓以上に遠くへ行く必要がない。もしほかに原因がなくても、ここに十分な原因がある。

多くの者は食欲の放縱によって自らを神から引き離す。すずめが落ちるのをご存知であるお方、髪の毛までも数えられるお方は、体力を弱らせ、知性を麻痺させ、道徳の知覚力を失わせることに費用をかけて、ゆがんだ食欲にふける人々の罪を記される。(食事と食物への勧告 159,160)

やわらかい食事、スープや流動食、あるいは肉を自由に用いることは健康な筋肉、健全な消化器官、はっきりとした頭脳を与えるのに最上ではない。……食事の問題は研究すべきである。ひとりの人の食欲、嗜好、思いつき、見解に従うべきではない。だが、大いなる改革の必要がある。(クリスチャン教育の基礎 226)

わたしたちは健康の法則と調和して生きるだけでなく、他の人々により良い方法を教えるために自分自身を教育しなければならない。多くの者、しかも今の時代の特別な真理を信じていると公言する人々ですら、健康と節制に関して嘆かわしいほど無知である。彼らは教訓に教訓、規則に規則をもって教育を受けるべきである。その主題が彼らの前に新鮮に保たれなければならない。この事柄は不必要なこととして見過ごしてはならない。なぜならほとんどの家庭もその問題に目覚める必要があるからである。良心が真の改革の原則を実践する義務に目覚めなければならない。……

知性と良心を目覚めさせるよう努めなさい。自分の思いのまま用いることのできるタラントをことごとく奉仕に持ち込み、その主題の出版物でその働きを続けて行いなさい。(クリスチャンの節制と聖書の衛生 117)

9月4日

ギレアデに乳香

「ギレアデに乳香があるではないか。その所に医者がいるではないか。それにどうしてわが民の娘はいやされることがないのか。」(エレミヤ 8:22)

癒しのわざを実践する方法は多くあるが、天が認める方法は一つだけである。神の治療法は単純な自然の作用であって、強い特性で体組織に負荷をかけたり、衰弱させたりしない。きれいな空気と水、清潔、適切な食事、生活の純潔、神への堅固な信頼が、幾千もの人々が死につつある欠乏のための治療である。しかしながらこれらの治療は、人々が喜ばない熟練を要するので、時代遅れになってきている。新鮮な空気、運動、きれいな水、清潔で気持ちのよい家屋はほとんど費用がかからないですべての人の手に届く範囲にある。しかし、薬物は、資金の出費においても体組織に生じさせる結果においても高価である。(健康に関する勧告 323)

神はご自分の子らに、体力を損なうために自己を否定するようにと要求なさることはない。このお方は自然の法則に従い、身体を健康に保つようにと要求なさる。自然の道はこのお方が計画しておられる道であり、どのクリスチャンにとっても十分広い道である。神は、惜しみないみ手をもって、わたしたちの生命維持と楽しみのために、豊かでさまざまな恵みを備えておられる。しかし健康を保ち、命をながらえる自然の食欲を楽しむために、このお方はわたしたちのために食欲を制限される。このお方は、用心しなさい、不自然な食欲を抑え、否定しなさい、と言われる。

もしもわたしたちが正道からはずれた食欲をおこすなら、自分の存在の律法に違反し、自分の体を乱用し、病をもたらす責任を取ることになる。(クリスチャンの節制と聖書の衛生 151)

ギレアデに乳香がある。そこに医者であるお方がおられる。イエスは偉大な医者であられる。(原稿リ-ス 12 巻 8)

医者がなそうと試みることはできないことを、キリストは成し遂げて下さる。人間は寿命を延ばそうと努力する。キリストは命そのものであられる。死の力を持つものを滅ぼすために死を経験されたお方は、すべての生命力の源であられる。ギレアデに乳香があり、そこに医者であるお方がおられる。キリストは、わたしたちが命を持つことができるために、最も屈辱的な状況の下での苦痛を与える死を耐えられた。(健康に関する勧告 332)

食欲を神に明け渡す

「だから、飲むにも食べるにも、また何事をするにも、すべて神の栄光のためにすべきである。」(コリント第一 10:31)

厳粛な責任が真理を知っている者に負わされている。すなわち、彼らの働きはすべてその信仰と調和していること、彼らの生活は精錬され聖化されていること、またメッセージの閉じるこの時代に速やかになされなければならない働きのために準備ができていう責任である。彼らには食欲の放縱に費やす時間も力もない。(健康に関する勧告 128)

改革、絶え間ない改革が、つねに人々の前に保たれ、そしてわたしたちは、自分たちの模範によって、自分たちの教えを強化しなければならない。真の宗教と健康の法則は手に手をとって進む。健康を破壊し、魂をいやしくし、聖なる真理が思いに印象づけるのを妨げる罪深い満足感と関係を絶つ必要があることを彼らに示さずに、男女の救いのために働くのは不可能である。男女はあらゆる習慣と常習行為を注意深く見て、体を不健康な状態にし、このようにして思いに暗い影を投げかける事柄を直ちに止めるよう教えられなければならない。

神は、ご自分の光をになう者が絶えず自分たちの前に高い基準を保つことを望んでおられる。彼らは教訓と模範によって自分たちの完全な基準をサタンの偽りの基準の上に高く保たなければならない。その偽りの基準は、もしも従うなら体と魂双方にとって不幸、墮落、病、死へと導く。健康を保つために、どのように飲食し、衣服を着るかの知識を得ている人々に、この知識を他の人々に伝えさせなさい。貧しい人々に実際の見地から彼らに説かれた健康の福音を伝えなさい。それは彼らが聖霊の宮である体をどのように適切に気をつけるかを知ることができるためである。(同上 480)

節制という主題は、あらゆる面において、救いの働きにおける重要な位置を占めている。(同上 443)

清められていない意志と感情は十字架につけられなければならない。これは綿密な厳しい働きと見なされるであろうが、なされなければならない。さもないとあなたはイエスのみ口から「去れ」との恐ろしい宣告を聞く。あなたはあなたを強めてくださるキリストによってすべてのことをすることができる。(教会への証 3 巻 84)

9月6日

これは神の食物である

「神はまた言われた、『わたしは全地のおもてにある種をもつすべての草と、種のある実を結ぶすべての木とをあなたがたに与える。これはあなたがたの食物となるであろう。』」（創世記 1:29）

穀類、果実、堅果類、野菜がわたしたちのために創造主のお選びになった食物である。こうした食物をできるだけ単純に自然のまま調理したものが最も健康的で栄養がある。それはさらに複雑な刺激的な食物によっては得られない力と耐久力と知能の力を与える。

しかし、健康的な食物はどれでも、どんな場合にでも自分の必要に適するとはかぎらない。食物の選択には注意を要する。食物は時節に適し、住んでいる土地の気候に合い、その人の職業に応じたものでなければならない。時節や気候の違った地方で用いられている食物はそのほかの場所では適しない。また職業の異なった人にはそれぞれ最も適切な食物がある。強度の肉体労働に携わっている人が食べるのによいものは、座業や、ひどく頭脳を使う人には不適當である。神は健康的な食物を種々与えておられるから、各自はその体験と正しい判断に基いて自分の必要に最も適するものを選ぶべきである。

自然が豊かに供給する果実、堅果類、穀類は十分にあり、年々各地の生産物は輸送の便が増すにつれて、さらに全般的に広く、あらゆる人にゆきわたるようになった。その結果、数年前までは高価なぜいたく品とされていた多くの食品も今日では日常の食物として万人の手にはいるようになった。特に乾燥果物と缶詰果実がそうである。堅果類とその加工食品が肉類の代用として一般に食用されるようになり、これを穀類や果実あるいは根菜類と混じて衛生的な栄養食品とすることができる。しかし、堅果類は大量に使用せぬように注意しなければならない。（ミストリー・オブ・ヒーリング 274,275）

甘味を取りすぎると欺きとなる

「人が見て自分で正しいとする道があり、その終りはついに死にいたる道となるものがある。」(箴言 16:25)

砂糖は、体組織を詰まらせる。それは、生きた機械の働きを妨げる。……

ミシガン州のモントカーム・カントリーであった一例を述べよう。その人は高潔な人物であった。彼は 180 センチほどの身長があり、立派な風貌であった。わたしは病氣にかかった彼を訪問するために呼ばれた。わたしはまず彼の生き方に関して彼と言葉を交わした。「あなたの目の様子が気になります」とわたしは言った。彼はあまりにも多くの量の砂糖を食していた。わたしはなぜそうするのかを彼に尋ねた。彼は肉をやめたが、砂糖ほどその埋め合わせとなるものが他にないと言った。彼の食物は彼を満足させなかったが、それは単に彼の妻がどのように料理するかを知らないからであった。あなたがたのうちある者は、ほとんど女性に成長した自分たちの娘を、どのように料理するかがわからないうちに科学を学ばせるために学校へ送っているが、料理こそ第一の重要性をもつものとされるべきである。ここにどのように料理するかを知らない女性がいた。彼女はどのように健康的な食物を用意するかを学んでこなかった。妻であり母親である者がこの重要な教育分野に欠けていた。そしてその結果、まずい調理の食物が体組織の要求を満たすのに十分でないため、砂糖を不節制に食し、それが組織全体を病んだ状態にしてしまった。この男の人の生涯は、まずい調理のゆえに不必要に犠牲にされたのである。わたしがこの病人を見舞いに行ったとき、どのようにすべきかをできる限り彼らに教えようと努めた。そして、まもなく彼はゆっくりと回復していった。しかし、彼は軽率にもまだ無理な時に自分の力を使い、良質でないものを少し食し、そして、また伏してしまった。今回は彼のために助けとなるものはなかった。彼の体組織は生きた腐敗物の固まりのようであった。彼はまずい調理の犠牲者として死んだのである。彼は良い調理の代わりを砂糖で埋め合わせようとしたが、それは事態を悪化させただけであった。……

砂糖は大量に用いると、肉よりも害をなす。(教会への証 2 巻 369,370) .

デザートに関する多様な小皿は、助けにもならず健康的でもなくかえって有害であり、わたしに与えられた光によると食物の準備において断固とした変更が必要とされるべきである。(スパルディング・マーガソン・コレクション 72)

9月8日

なすべき霊的な礼拝

「兄弟たちよ。そういうわけで、神のあわれみによってあなたがたに勧める。あなたがたのからだを、神に喜ばれる、生きた、聖なる供え物としてさげなさい。それが、あなたがたのなすべき霊的な礼拝である。」(ローマ 12:1)

〔キリスト〕は屈辱の生涯にまで身を低くされた。このお方はあざけりの対象とられた。このお方は人にさげすまれ、拒まれた。墮落したアダムの息子娘たちを希望のない悲惨さから高め、救うために、侮辱と嘲笑に耐え、もつとも屈辱的な方法でもつとも苦痛に満ちた死に耐えられた。わたしたちの贖い主によってわたしたちのために表されたこの比類のない犠牲と神秘的な愛を見ると、わたしたちの全的な礼拝をこのお方から差し控えるのであろうか。それは最高を尽くしたところで非常に弱々しいものである。……

クリスチャンは自分たちの家族がエネルギーをすっかり使い果たし、そのため魂と体と思いと力を要求なさる神の礼拝にお捧げする活力が残らないほど働くように促すことを習慣としてはならない。もしあなたが自分という存在すべての力を自分自身の興味のために捧げてしまうとすれば、あなたは神に何をお捧げするといふのか。それは不完全な犠牲ではないだろうか。……

自分の子供たちを教えるために用いるのは時間の良い使い方である。あなたは機械工、商売人、農夫でありながら、神のために生きた受け入れられる伝道者となることができる。あなたがたは自分の魂を尽くして、自分のご主人の働きに携わり、他の人々にあなたの光が照るようにすることができる。まず神の国と神の義を求めるために、主があなたを目覚めさせて下さるように、というのがわたしの祈りである。そうすればこれらすべてのことは与えられる。あなたはどのように神を試すのか。あなたは自分で備えることのできる備えをすべてしてきたのではないだろうか。あなたは自分が将来必要になると思うものを取り計らうために、遠い将来を見越してきたのではないだろうか。あなたは明日のことを考え、自分の救いを二の次にしてこなかったであろうか。あなたは永遠の事柄には一瞬も注意を向けず、自分の家族のための備えをしようと何年も先の将来を見ている。

しかし、主は何と仰せになるであろうか。「それだから、あなたがたに言うておく。何を食べようか、何を飲もうかと、自分の命のことで思いわずらい、何を着ようかと自分のからだのことで思いわずらうな。命は食物にまさり、からだは着物にまさるではないか」(マタイ 6:25) ……

ここに引用されたわたしたちの救い主の言葉には何のコメントもいらぬ。(ビュ・アンド・ハルト 1870 年 3 月 29 日)

新鮮な空気と日光

「光は快いものである。目に太陽を見るのは楽しいことである。」(伝道の書 11:7)

花を見たり、木から熟した実をつんだり、鳥の嬉しいな歌声を聞いたりすることは、とくに神経組織を元気づける効果をもつ。戸外の生活から、男も女も子供も、純潔で誠実な者になりたいという願いをもつようになる。自然の偉大な薬効のある資源がもつ、活気づけ、生き返らせ、命を与える特質によって、身体機能は強められ、知性は目覚めさせられ、想像力が刺激され、精神が活気づけられる。思いは神のみ言葉の美しさを感じするように整えられる。……

どんなに多くの絵画に飾られた壁であろうと、四方を囲まれた中にいるより、戸外にいる方が、病人にとってどれほどいいことであろう！(医事伝道 231,232)

野の花の美しさによって、〔病人の思い〕は、自分自身から、自分のうずきや痛みから気がそれ、自然から自然の神、すなわちこれほど豊かに自然界の美しさを備えて下さったお方へと目を向けるように導かれる。回復期にある患者は、木陰に横たわることができる。またもっと体力のある者は、望むなら、花々の中で働くことができる。最初はほんの少しずつ、それから、体力がつくにつれて作業を増やしていくことができる。庭で働き、花や実をつんだり、鳥が神に讃美しているのを聞いたりすると、患者はおどろくほど祝福を受ける。神の御使たちは彼らに近づくと、彼らは自分たちの悲しみを忘れる。憂うつや意気消沈がなくなる。新鮮な空気と日光と運動をとると、彼らに命と活力をもたらす。弱った頭脳と神経はやわらげられる。(原稿リ-ス1巻 255,256)

自然は神の医者である。きれいな空気、晴れやかな日光、美しい花々や木々、果樹園やぶどう畑、これらの環境の中での屋外運動は、健康を与える一命の万能薬である。戸外生活は多くの病弱者が必要としている唯一の薬である。……

都市生活、多くのきらめく光、街路の騒音に慣れた病弱者にとって、田舎の静けさと自由はどれほど感謝すべきであろう！(健康への勧告 170)。

9月10日

すばらしい水

「〔主〕は泉を谷にわき出させ、それを山々の間に流れさせ、野のもろもろの獣に飲ませられる。野のろばもそのかわきをいやす。」（詩篇 104:10, 11）

神の奇跡はいつも奇跡のような外面的なあらわれを伴っているとは限らない。しばしばそれらはあたかも自然な一連の出来事であるかのような方法でもたらされる。わたしたちが病人のために祈るとき、また彼らのために働くのである。わたしたちは自分自身の祈りに、手に届く範囲の治療法を用いることによって、こたえるのである。賢明に用いるならば、水は最も強力な治療法である。（エレテッド・メッセージ 2 巻 346）

身体の不純物は、外に出ることができなければ、再び血液の中に取り込まれて、内臓に影響を及ぼす。自然は、自らを毒性の不純物から解放しようとして、体組織を自由にしようと努力する。この努力が熱を生じさせ、これが病気と呼ばれているのである。しかし、その時でさえ、もし苦しんでいる者が純粋な軟水を用いることによって、自然が努力する際に助けるならば、多くの苦しみを避けることができる。しかし、多くの人々はこうする代わりに、体組織から有毒なものを取り除こうとして、さらに多くの致命的な毒を入れ、すでにそこにある毒を取り除こうとするのである。（エレテッド・メッセージ 2 巻 460）

多くの人々は、天の最大の祝福の一つを用いることを恐れて、有益な水の効果を一度も経験したことがない。燃えるような熱に苦しんでいる人に対して、水が彼らに害をなすのではないかと恐れから与えられてこなかった。もし、熱が出ている状態のときに、自由に飲むよう彼らに水が与えられ、また外用としても用いられてきたなら、長い苦しみの日夜はなくてすみ、多くの尊い命が助けられたはずである。しかし、燃えるような熱で何千もの人が燃え尽きて死に、熱にそそがれた燃料がすっかり燃え尽きるまで重要な器官は消耗し、たいへんな苦しみの中で、燃える喉をいやす水を得ることが許されずに、死んでいったのである。（エレテッド・メッセージ 2 巻 453）

H兄弟……屋外で十分に運動することと、節制した食事があなたの健康にとって必須である。あなたは一日二食をこえて食べるべきではない。もしも夜、食べなければならぬように感じたら冷水を飲みなさい。そうすれば翌朝は、その前夜食していないために、ずっと気持ち良く感じるであろう。（食事と食物への勧告 163）

必要とされている清潔

「心はすすがれて良心のとがめを去り、からだは清い水で洗われ、まごころをもつて信仰の確信に満たされつつ、みまえに近づこうではないか。」(ヘブル 10:22)

もしすべての人が健康の法則に厳密に従うことによって、病気の予防のために労するならば、多大な苦しみをまぬかれることができる。厳密な清潔の習慣を守るべきである。多くの人々は、元気な時に、健康状態を保つために手間をかけようとしな。彼らは個人的な清潔をなおざりにし、自分たちの衣服を注意深く純潔に保つことをしない。不純物はたえず気づかないうちに毛穴を通して体から出ており、もし皮膚の表面が健康的な状態に保たれていないならば、体組織は不純物で重荷を負わされる。もし着ていた衣服をしばしば洗濯し、空気にさらさないならば、それは気づいても気づかなくても発汗によって体から捨て去られた不純物によって汚れる。そしてもし着ていた衣服がしばしばそれらの不純物から清められないならば、皮膚の毛穴はその捨てた排泄物を再び吸収する。身体の不純物は、外に出ることができなければ、再び血液の中に取り込まれて、内臓に影響を及ぼす。……

いくつもの家族が熱で苦しみ、ある者は死に、そして家族の輪の中で残った者たちは、自分たちを悲嘆にくれさせる死別のゆえに、自分たちの造り主に対してつぶやくばかりであるが、実は彼らの病氣と死のすべての原因はただ、彼ら自身の不注意の結果である。自分自身の家屋の周りにある不純物が彼らに伝染病をもたらし、彼らが神のせいに行っている悲しい苦悩をもたらしている。健康を重んじるすべての家族は、自分たちの家や敷地からすべての腐敗物を清めるべきである。

神はいかなる場合も自分自身や自分たちの衣服に汚れがあることを許してはならないとイスラエルの子らにお命じになった。なんであれ個人的な汚れのある人々は、夕まで宿営の外に締め出され、宿営に入る前に、自分自身と自分の衣服を清めることが要求された。また彼らは自分たちの家屋に汚れがあつてはならないと神から命じられていた。……

清潔に関して、神は昔のイスラエルに要求なさったのとまったく同様に、今もご自分の民に要求しておられる。(エレキッド・メッセージ 2 巻 460,461)

9月12日

万事における自制

「しかし、すべて競技をする者は、何ごとにも節制をする。彼らは朽ちる冠を得るためにそうするが、わたしたちは朽ちない冠を得るためにそうするのである。」(コリント第一 9:25)

子供たちはしばしば、健康を考えずに、自分たちが食べたいものを食べたい時に食べる習慣にふける。赤ん坊の時から食通に教育される子供たちが大勢いる。食欲の放縱を通して、彼らは幼少のころより胃弱になる。自己放縱と食べることにおける不節制は彼らの成長と共に成長し、彼らの強さと共に強くなる。精神的かつ身体的活力は両親の放縱を通して犠牲にされる。益どころか害しか受けない特定の食物に対する嗜好ができ、体組織は無理を強いられ、体質は虚弱になる。(教会への証 3 巻 489)

キリストがご自身の生涯によってどのように人が誘惑に抵抗することができるかを示すために、この地上に来られ、ご自分の天の家を去られたことによって払われた犠牲を真に自覚している人はみな、喜んで、自己を否定し、キリストと共にそのお苦しみにあずかる者となることを選ぶ。

主を恐れることは知恵の始まりである。キリストが勝利されたように勝利する人々は、たえずサタンの誘惑に対して自分自身を防御する必要がある。食欲と情欲は啓発された良心の支配下に制限されなければならない。それは知性が弱められず、知覚力が明晰で、サタンのわざとそのわなを神のみ摂理だと解釈することのないためである。多くの人々が勝利者に与えられる最終的な報いと勝利を望んでいる。しかし、彼らの贖い主のように、労苦や欠乏、自己否定に耐えようとしない。キリストが勝利されたように、勝利するのは、ただ服従と継続的な努力を通してのみである。

食欲の支配的な力は、何千もの人々の破滅となってきたが、もし彼らがこの点において征服していたならば、他のサタンのすべての誘惑に対して勝利を得るための道徳的な力を得たはずであった。しかし、食欲の奴隷である人々は、クリスチャン品性を完成させることに失敗する。(教会への証 3 巻 491,492)

治癒力のある信頼

「わが魂よ、何ゆえうなだれるのか。何ゆえわたしのうちに思いみだれるのか。神を待ち望め。わたしはなおわが助け、わが神なる主をほめたたえるであろう。」(詩篇 42:11)

あなたに欠けているのはイエスの霊である。あなたはそれを絶えずいだいていなければならない。そうすれば、困難が生じるときに、あなたはキリストのうちに隠され、いついかなる場合にもキリストの御霊をあらわすようになる。あなたは自分自身に対する同情や憐れみの情を促すべきではない。すべて自己はイエス・キリストのうちに隠されるべきである。そのとき、あなたは自分にとって最善が何であるかを知らない魂に対して心からの悲しみと憐れみを感じ、自分が受けたひどい取り扱いをみな忘れるのである。

わたしたちはこの事実をたえず思いに留めていなければならない。それはイエスのみ手がご自分に真心から従う一人ひとりに伸ばされていて、あなたを傷つけようと狙った攻撃の一つ一つは、あなたをおおうイエスのみ手を傷つけるのだということである。だから、あなたは自己をまったくなくしてしまわなければならない。自己をできる限りあなたの視野の外におきなさい。そしてあなたが非常に助け、救いたいと思っている人々に、あなたの言葉が受け入れられないのを見るとき、そのとき、キリストの許へ逃れて祈らなければならない。……

わたしたちはあるべきほどの五分の一も柔和でなく謙遜でない。(ビュー・アンド・ワルド 1887 年 3 月 29 日)

わたしたちが品性の自立と独立性を培うのは、自分自身に対して負っている義務である。しかし、この特質は柔和とへりくだりと混ぜ合わされなければならない。わたしたちは、多くの人々がするように自分自身の知恵と判断に信頼するとき、確実に恥と困惑に直面する道にいたのである。わたしたちが自分たちの品性の欠点に勝利することができるのは、神の恵みを通してのみである。しかし、わたしたちがそれらを制するために継続的な努力をしない限り、それらはますます強くなる。(サイン・オブ・ザ・タイムズ 1884 年 6 月 5 日)

サタンはわたしたちとキリストの間に自らを差し挟もうとしている。しかし、わたしたちは信仰を語り、わたしたちを救うイエスのみ力を高めることによって、サタンを退けなければならない。わたしたちはぐずぐずせずに、前へと歩を進めないものであろうか。わたしたちは光のうちに同様に闇のうちにあっても、わたしたちの救い主を信頼することを恐れてはいないことを示さないものであろうか (サイン・オブ・ザ・タイムズ 1890 年 3 月 17 日)

9月14日

幸せな信仰には薬効がある

「心の楽しみは良い薬である、たましいの憂いは骨を枯らす。」(箴言 17:22)

思いと体の間に存在する共鳴は非常に大きい。一方が影響を受けるともう一方が反応する。思いの状態は身体的組織の健康に大いに関係する。もし、正しいことをしているという自覚と他の人を幸せにしてあげているという満足感の下で、思いが自由で喜ばしいならば、それは体組織全体に作用する快活さを生み出し、血液がもっと自由にめぐるようになり、体全体の調子を上げる。神の祝福は癒しであり、他の人を豊かに益する人々は、自分たちの心と生活のうちに驚くべき祝福に気がつくであろう。(教会への証 4 巻 60,61)

神の御霊の感化こそ、病気にとってごく最上の薬である。天はことごとく健康である。そして深く天来の感化を自覚すればするほど、信じる病弱者の回復はより確かになる。キリスト教の真の原則はすべての人の前に、はかりしれない幸福の源を開く。宗教は絶えざる水源であり、クリスチャンが意のままに飲んでも決して尽きることのない泉である。

思いと体の間に存在する関係は非常に密接である。一方が影響を受けるともう一方が共鳴する。思いの状態は身体的組織の健康に影響を与える。もし、正しいことをしているという自覚と他の人を幸せにしてあげているという満足感により、思いが自由で喜ばしいならば、それは体組織全体に作用する快活さを生み出し、血液がもっと自由にめぐるようになり、体全体の調子を上げる。神の祝福は癒しの力であり、他の人を豊かに益する人々は、自分たちの心と生活のうちに驚くべき祝福に気がつくであろう。

悪習慣と罪深い慣習にふけっていた人々が神聖な真理の力に屈服すると、心にその真理が適用され、麻痺していたかのようにであった道徳力がよみがえる。それを受ける人は、自分の魂をとこしえの岩に釘づける以前よりももっと強く明晰な理解力を持つ。彼の身体的健康でさえ向上する。(健康への勧告 28)

健康のために自らへりくだる

「自分を見て賢いと思ってはならない、主を恐れて、悪を離れよ。そうすれば、あなたの身を健やかにし、あなたの骨に元気を与える。」(箴言 3:7, 8)

兄弟よ、あなたは大きいに学ばなければならない。あなたは、あなたの身体組織が健康な血液に変えることができる以上の食物を食べて食欲をほしいままにしているが、たとえその質が差支えないものであっても、食べる量において不節制であることは罪である。多くの人々は、肉類や粗悪な食物を食べさえしなければ、単純な食物をそれ以上食べられないほど食べても良いと思っているが、これは誤りである。健康改革者と公言する多くの人々が、暴食家に他ならない。彼らは消化器にあまりに大きな負担をかけるので、組織の活力はこれを処理する努力のために消耗されてしまうのである。また、胃の働きを助けるために脳神経の力が要求されるために、知能を鈍らせる影響を及ぼす。過食はたとえ単純な食物であっても脳髓の敏感な神経を鈍らせ、その活気を弱める。過食は過労以上に身体を害し、霊的な力は不節制な労働よりも不節制な食事によって更に多く失われる。(食事と食物に関する勧告 93)

神が特別に導き祝福なさる義人に要求されている自己否定、へりくだり、節制が、この墮落した時代に生きている人々のぜいたくや健康を破壊する習慣と対照的に、民に提示されなければならない。……

神は手が体に密接につながっているように、健康改革が第三天使のメッセージと密接につながっていることを示してこられた。身体的また道徳的墮落の原因として、この重要な主題を無視することほど大きな原因をほかのどこにも見出すことができない。食欲と情欲の放縦にふけり、自分たちが捨てたくないと思っている罪深い放縦を認めることを恐れて、光に自分たちの目を閉ざす人々は、神のみ前に有罪である。ある事情において光に背を向ける人はだれでも自分の心をかたくなにし、他の問題に関する光を無視するのである。飲食の問題において、道徳的義務を犯す人はだれでも、永遠の利益に関する神のご要求を犯す道を備えることになる。

わたしたちの体は、わたしたち自身のものではない(健康への改革 73)

9月16日

神の方法は健康を促進する

「わが子よ、わたしの言葉に心をとめ、わたしの語ることに耳を傾けよ。それを、あなたの目から離さず、あなたの心のうちに守れ。それは、これを得る者の命であり、またその全身を健やかにするからである。」(箴言 4:20-22)

神の律法への従順のうちに健康がある。

賢者は、知恵の「道は楽しい道であり、その道筋はみな平安である」と言っている(箴言 3:17)。多くの人々は神への献身が、健康と人生の社交関係における幸福にとって有害だという印象をいだいている。しかし、知恵と聖潔の道に歩む人々は、「信心は、今のいのちと後の世のいのちとが約束されてあるので、万事に益となる」ことを見出す(テモテ第一 4:8)。彼らは人生の真の喜びを享受して生き生きしており、それと同時に無駄に過ごした時間に対する虚しい後悔や、世俗の人が何らかの興奮するような娯楽で気がまぎれないときにあまりにもよく陥りがちな思いの憂鬱さや恐れに悩まされることがない。……信心は、健康の法則と衝突することなく、かえってそれらと調和している。人がつねに十誠に従順であったならば、……いま世界に洪水のようにあふれている病気ののろいはなかったのである。

神の是認の確証は、身体的な健康を促進する。それは、あまりにもしばしば生命力を奪い、神経的な病を誘発する疑いや困惑や過度の悲嘆に対して防備する。

正しいことをしているという自覚は、病んだ心身に対する最高の薬である。受ける者にとどまる神の特別の祝福は、健康と強さである。思いが静かに神のうちに満ち足りている人は健康への道にいる。主の目がわたしたちにとどまっており、このお方の耳がわたしたちの祈りに開かれているという自覚は、実に満足を与えるものである。わたしたちが決して信頼を裏切らない友なるお方に、魂のすべての秘密を打ち明けることができることを知るのには、言葉では決して表現できない特権である。

勇気、希望、信仰、同情、愛は、健康を促進し、命を延ばす。満ち足りた思い、快活な精神は、身体にとって健康であり、魂にとって力である。(信仰によってわたしは生きる 229)

健康の分野における偏見を克服する

「主は言われる、わたしはあなたの健康を回復させ、あなたの傷をいやす。それは、人があなたを捨てられた者とよび、『だれも心に留めないシオン』というからである。」(エレミヤ 30:17)

自分の患者を自然と彼らの病気の原因に関して啓発し、彼らにどのようにして病気を避けるかを教えるために努力する医者とは、骨の折れる働きをすることになる。しかし、もし彼が良心的な改革者であれば、飲食や衣服における放縱の破滅的な影響について、自分の患者を現在の状態にしてしまった生命力への過度の負担について率直に述べる。彼は疲れきった自然が苦闘をあきらめてしまうまで薬物を使用することによって悪を増し加えることなく、かえって患者にどのようにして正しい習慣を形成し、自然自身の単純な治療法を用いることによって、自然自らの回復の働きを助けるかを教える。(クリスチャンの節制と聖書の衛生 121)

ケログ博士、神はあなたに医師会の恩寵をお与えになった。そしてこのお方はあなたがそれを維持するようにと望んでおられる。しかし、いかなる場合もあなたは世の医者のように、逆症療法を他のどの方法にもまさるものとして持ちあげ、それ以外のすべての方法をみないんちき療法や誤りだと呼ぶ立場に立つてはならない。なぜなら、始めから現在に至るまで逆症療法の結果はもつとも反対すべき結果を示してきたからである。あなたの治療院では、薬物を用いて、自然にその回復の働きをするチャンスを与えなかったために人命の損失をこうむった。薬物投与が人体機械の力を破壊し、患者は死んだのである。他の人々は薬を持ち帰り、自然が体組織を回復するために用いる単純な治療法の効果を減じている。あなたの施設〔バトル・クリーク・サニタリウム〕の学生たちは、薬物を必要なものとして考えるように教育されてはならない。彼らは薬物には触らないように教育されるべきである。(原稿リ-ス 16 巻 288,289)

健康改革に関する光を持っているすべての人は、自分たちの知性を実践に用い、そうすることによって健康改革に対する偏見を取り除くべきである。よくある病気の賢明な治療のために必要なものをそろえることは、神に祝福される。そして、実践することなく単に教えるよりもはるかに多くの益をもたらす。(原稿リ-ス 20 巻 354)

湿布処方

「そのころ、ヒゼキヤは病気になって死にかかっていた。アモツの子預言者イザヤは彼のところにきて言った、『主はこう仰せられます、「家の人に遺言をなさい。あなたは死にます。生きながらえることはできません』。そこでヒゼキヤは顔を壁に向けて主に祈って言った、『ああ主よ、わたしが真実と真心をもってあなたの前に歩み、あなたの目にかなうことをおこなったのをどうぞ思い起してください』。そしてヒゼキヤは激しく泣いた。……そしてイザヤは言った、『干しいちじくのひとかたまりを持ってきて、それを腫物につけさせなさい。そうすれば直るでしょう』。』（列王記下 20:1-3, 7）

神からの一言、神のみ手の一触れがヒゼキヤをただちに癒すのに十分であったことであろう。しかし、その代わりに、彼はいちじくの湿布をするように指示を受け、それを患部にはった。これがなされたとき、ヒゼキヤは健康に回復された。主が用いるよう命じられたこの処方を、わたしたちが行う以上にもっと重んじるがよい。（《レクテッド・メッセージ》2 巻 301）

医師会では……ヒゼキヤのための主の処方をいんちぎ療法だと呼ぶことであろう。王に死が宣告されたが、彼は命を求めて祈り、彼の祈りは聞かれた。彼の世話をしていた人々はひとかたまりのいちじくを取ってそれを腫物の上におくように命じられた。そして王は癒された。この手段は神によって、彼らの調合はみな王から回復し病気を克服する力を奪っていることを教えるために取られた。彼らは自分たちの治療法を追及している間は、彼の命は救われ得なかった。主は彼らの思いを彼らのすばらしい神秘からそらし、自然の単純な療法へと向けさせた。これらの指示にはわたしたちすべての者のための教訓がある。（原稿リース 16 巻 289）

もし目が弱ければ、もし目に痛みがあれば、あるいは炎症があれば、お湯と塩でしめらせたやわらかいフランネルの布が、すみやかに緩和してくれる。

頭がうつ血しているときに足や四肢を少しのからしを入れた湯船につけると、効果が得られる。

体に健康的な活動を回復するために大いに役立つ単純な療法がまだ多くある。すべてこれらの単純な処方を主はわたしたちが自分自身のために用いることを期待しておられる。しかし、人の危機は神の好機である。（《レクテッド・メッセージ》2 巻 297）

「エジプトびとに下した病を一つも」

「あなたが、もしあなたの神、主の声に良く聞き従い、その目に正しいと見られることを行い、その戒めに耳を傾け、すべての定めを守るならば、わたしは、かつてエジプトびとに下した病を一つもあなたに下さないであろう。わたしは主であって、あなたをいやすものである。」（出エジプト記 15:26）

主は昔のイスラエルに、もし彼らがまったくご自分とご自分のすべてのご要求に忠実であるならば、彼らをエジプト人に下したようなすべての病から彼らは守られるのであった。しかし、この約束は、従順という条件に基づいて与えられた。（教会への証 9 巻 165）

神の恵みはいつも改革的である。人類一人びとりは有害な習慣をやめて、自分のために何ができるかという知識を得るためにまなぶ学校にいる。これらの事柄を無視する人々、呼吸するための清い空気や飲むための清水を得ることにに関して予防策を取らない人々は、病気にかからないわけにはいかない。彼らの体組織は汚れ、人間の体構造は損なわれる。……

知識は彼らの道沿いにまかれているが、彼らは神に頼っているのだと言いながら、光線を集めることを拒否する。しかし神は、ご自分が彼らにさせるために残されたこれらのことをなさるであろうか。このお方は彼らの怠慢を埋め合わせて下さるであろうか。このお方は彼らが故意に無知であることを見過ごされ、用いるならば健康をもたらす最も単純な手段を彼らが無視しているときに、魂と体と霊を回復することによって、彼らのために大いなることをなして下さるであろうか。日々彼らが病気をもたらすものを食べることによって、自分たちの食欲にふけているときに、彼らは主が自分たちを回復するために奇跡を働いて下さることを期待できるであろうか。これは主の働かれる方法ではない。（医事伝道 226）

神の愛の証拠を知る人々、このお方の律法の知恵と有益性、また従順の結果である祝福について何かを理解する人々は、自分たちの義務と責務をまったく違った視点から見ようになる。健康の法則の遵守を犠牲か自己否定であるかのように見る代わりに、彼らはそれを、実際そうであるとおりに、はかりしれない祝福だとみなすのである。（クリスチャン節制と聖書の衛生）

9月20日

偉大な癒し主のために証言する

「わがたましいよ、主をほめよ。そのすべてのめぐみを心にとめよ。主はあなたのすべての不義をゆるし、あなたのすべての病をいやし」(詩篇 103:2, 3)

バプテスマのヨハネは一生の働きのための訓練を、ラビの学校ではなく荒野で、ただ神とこのお方とだけで受けた。彼が祈ると、聖書が彼の前にすばらしい方法で開かれた。そして今日まったく同様に、神は上より来る知恵を謙遜に求めるすべての人に教えたいと思っておられる。……

わたしたちには実際の価値のない主題を研究するために何年も過ごす時間はない。わたしたちは、自分たちがすべての科学において知識の最上位に上りつめなければならないと考えるべきではない。時は短い、だから、わたしたちは魂を救うために熱心に働かなければならない。もしわたしたちが神のみ言葉を信じ、それを勤勉に祈りをもって研究するならば、自分たちの必要としている光と知識を見出す(説教と講和 1 巻 394)

かつて、わたしたちに一つも治療院がなかったとき、わたしの夫とわたしは医事伝道の分野で働き始めた。わたしたちは医者に死ぬと見はなされた患者を自分たちの家に連れて行ったものである。わたしたちが彼らにどうしてよいかわからなかったときは、最も熱心に神に祈った。そうするとこのお方は必ずご自分の祝福を送って下さった。このお方は力ある癒し主であられ、わたしたちと共に働いて下さった。わたしたちは一度も医学課程をまなぶ機会がなかったが、神の畏れのうちに動き、一步ごとにこのお方に知恵を求めたとき、成功した。これがわたしたちに主にある勇気を与えた。

こうして、わたしたちは祈りと働きを結びつけた。わたしたちは単純な水治療を用い、それから患者の目を偉大な癒し主に留めさせようと努力した。わたしたちはこのお方が彼らのために何がおできになるかを話した。もし患者に希望を吹き込むことができれば、これは彼らにとって大いに優位となる。わたしたちの治療院に関わって働くすべての人に無限のお方の力をしっかりとつかんでほしいと思う。わたしたちはこのお方とこのお方のみ言葉の力を信じる。わたしたちが病人の回復のために最善を尽くすとき、わたしたちがこのお方の救いを見ることができるよう、このお方にわたしたちと共にいて下さることを求めることができる。わたしたちは世界を治めるみ手の力にあまりにも信頼を置いていない。(福祉伝道 325,326)

主人のみ足の跡を

「日が暮れると、いろいろな病気になやむ者をかかえている人々が、皆それをイエスのところに連れてきたので、そのひとりびとりに手を置いて、おいやしになった。」
(ルカ 4:40)

主の再臨のために民を準備するにあたり、健康の原則の宣布を通して偉大な働きが成し遂げられなければならない。民は身体組織の必要と、聖書に教えられている通りの健康的な生き方の価値に関して教えられるべきである。こうして神が創造して下さった体を生きた供え物としてこのお方に差し出し、神に喜ばれる礼拝をお捧げするのにふさわしくなるためである。苦しむ人類のために神が備えて下さった自然の手段を用いることによってその苦しみを和らげ、また食欲と情欲を律することによって、どのように病気を予防するかを教えることによってなされるべき大きな働きがある。民は自然の律法の違反は、神の律法の違反であることを教えるべきである。彼らは身体的にも霊的にも「主を恐れることは人を命に至らせ」という真理を教えられるべきである(箴言 19:23)。……

わたしたちは身体の健康と魂の救いの両方のために労しなければならない。わたしたちの使命はわたしたちの主人であるお方と同じである。このお方については、よい働きをしながら、また悪魔に押えつけられている人々をことごとくいやしながら、巡回されたと記されている。(教会への証 6 巻 224,225)

医事伝道の働きにおけるほど輝かしく真理が輝いている他の働きの分野はない。すべての真の医事伝道者は、病んだ体のための治療と同時に罪に病んだ魂のための治療法を持っている。キリストを信じる信仰によって、彼は伝道者として、あわれみの使命者の役目を務めなければならない。彼が身体的な苦痛を癒すために、神に備えられた単純な治療法を用いるとき、彼は魂の病気を癒すキリストの力について語るのである。(医事伝道 39)

魂の癒しを求める偉大な医者への祈りは、神の祝福をもたらす。祈りはわたしたちを互いに、そして神に結びつける。祈りはイエスをわたしたちの側に連れて来て、弱り困惑している魂に新しい力と新鮮な恵みを与える。祈りによって、病人は神が同情をもって自分たちを見て下さると信じるよう励まされてきた。一筋の光が無力な魂へと貫き、命から命へ至る香りとなるのである。(レビュー・アンド・ヘラルド 1900 年 10 月 30 日)

癒す言葉

「つるぎをもって刺すように、みだりに言葉を出す者がある、しかし知恵ある人の舌は人をいやす。(箴言 12:18)

軽率で感情的で不注意な言葉によって、一瞬の間に一生後悔しても取り返しのつかない不幸が引き起こされることがある。助けといやしをあたえるべきところに軽率で冷酷な言葉を出したばかりに、どんなに人の心が傷つき、友だち同志が離反し、一生がだいなしになってしまうことであろう。(教育 279)

満ち足りた思い、快活な精神は体にとって健康であり、魂にとって力である。意気消沈、憂うつ、悲しみほど病気をもたらす原因はない。(教会への証 1 巻 702)

神は、わたしたちが、困っている人びとに、贈り物をするだけでなく、快活な顔をして希望にあふれたことばを語り愛のこもった親切な握手をすることを求めておられる。キリストは、病人をおいやしになったときに、人びとの上に手をおかれた。そのように、わたしたちも助けようとする人びとに近く接触しなければならぬのである。

世の中には、希望を失っている者が多い。彼らに、太陽の光を取りもどしてやろう。勇気のくじけた者が多い。彼らに、励ましのことばを語り、彼らのために祈りをささげよう。命のパンが必要な者もある。彼らには、聖書を読んで聞かせよう。地上の医者や薬では癒されない心の病に苦しんでいる者もある。わたしたちはそのような人のために祈り、イエスのところへ連れて来よう。そして、ギレアデには、乳香があり、そこに医者がいることを知らせよう。(キリストの実物教訓 393,394)

わたしたちは病床の傍らに、苦しむ人類の傍らに、貧困に打ちのめされ悩むあばら家にイエスの足跡を見出す。わたしたちはこのみ足の跡に歩み、苦しむ人を慰め、落胆した人に希望と慰めを語ることができる。イエスが地上におられたときになさったとおりによりによって、わたしたちはこのお方の祝福されたみ足の跡を歩むのである。(健やかな生涯 278)

〔イエス〕は、倦むことのない優しさと親切をもって、あらゆるかたちの人間の苦悩と苦しみに対処された。ご自身のためではなく、他の人々のために、このお方は労された。このお方は自らご自分を低くされ、ご自分を否定された。このお方はご自分を区別されたものにしようとされなかった。このお方はすべての人の僕であられた。日々ご自分が接触する他の人々の安堵と慰めになること、悲しみ、重荷を負っている人を喜ばせることが、このお方の食べ物であり、飲み物であった。(医事伝道 19,20)

こちよい言葉の力

「こちよい言葉は蜂蜜のように、魂に甘く、からだを健やかにする。」(箴言 16:24)

親切と同情の言葉は薬のように効果があり、絶望のうちにいる魂を癒す。実生活に持ち込まれた神の言葉の知識は、癒し、和らげる力がある。言葉の厳しさは自分自身にも他の魂にも決して祝福をもたらすことはない。(福音宣伝者 163,164)

わたしたちは自分たちの言葉や気質を制御しない限り、サタンの奴隷である。彼の支配下にいるのである。彼はわたしたちを虜にして導く。このやかましい、不快で、短気な、いらだった言葉はみな、彼の悪魔的な権威に差し出された捧げ物である。そして、それは高価な捧げ物であり、わたしたちが神にお捧げするどんな犠牲よりも高価である。なぜなら、それは家族全体の平安と幸福を破壊し、健康を破壊し、そしてついには、幸福な永遠の命を失う原因となるからである。神のみ言葉の抑制は、わたしたち自身の利益のために課されている。それはわたしたちの家族と周囲のすべての人の幸福を増す。それはわたしたちの嗜好を精練し、わたしたちの判断を聖化し、思いの平安と、そしてついには永遠の命をもたらす。この聖なる抑制の下に、わたしたちは恵みとへりくだりのうちに成長し、正しく話すのが容易になる。生来の感情的な気質は制せられる。内住する救い主は、一時間ごとにわたしたちを強めて下さる。仕える天使たちは、わたしたちの住まいに長くとどまり、喜びと共にわたしたちが神聖な生活において前進しているという知らせを天へ伝える。そして記録の天使は、喜ばしい幸福な記録をつけるのである。(教会への証 1 巻 310)

キリストの義の武具をつけていなさい。こちよい言葉、忠実な看護、苦しみを和らげようとする願いは、決して失望させることのない癒しの源、すなわち失われ墮落した人類のために贖いの代価を支払うために死なれたお方へと思いを向けさせる道を勝ち取る。敵は門まで攻め寄せて来るであろうが、武具をまもっていなさい。(クリス・コレクション 31)

非常に困難の中に人生の戦いを戦っている人は、ちょっとした愛の行為によって力づけられ、励まされる。こういう人にとっては、真の友人からの力強い助けの手は金や銀よりも尊く、親切な言葉は天使の微笑のようにうれしいものである。(ミストリー・オブ・ヒーリング 130,131)

9月24日

奇跡的な力

「ペテロが〔施しを求めていた足のきかない男に〕言った、『金銀はわたしには無い。しかし、わたしにあるものをあげよう。ナザレ人イエス・キリストの名によって歩きなさい』。こう言って彼の右手を取って起してやると、足と、くるぶしとが、立ちどころに強くなって」(使徒行伝 3:6, 7)

大いなる力をもって、弟子たちは、十字架にかけられよみがえられた救い主を宣べ伝えた。彼らは、イエスの名によって、しるしと奇跡を行った。病人はいやされた。生まれながらの足なえが完全な健康を回復し、すべての人々の前で、歩き回ったり踊ったりして神を賛美しながら、ペテロとヨハネと一緒に宮にはいって行った。この知らせが広がって人々は、弟子たちの回りに押しつけてきた。多くの人々が走り寄ってきて、行われたいやしのわざを見て、大いに驚いた。

祭司たちは、イエスが亡くなったときに、もう奇跡は、彼らの間で行われることなく、興奮もさめて、人々はふたたび人間の言い伝えにかえってくるものと思った。ところが、どうであろう。弟子たちは、彼らのまっただ中で、奇跡を行い、人々は、驚きに満たされている。イエスは十字架にかけられたのに、彼の弟子たちは、一体どこからこの力を得たのだろうか、と、彼らは不思議に思った。彼が生きていた時には、彼が彼らに力を与えたのだと彼らは思っていた。彼は、もう死んでしまったのであるから、奇跡もそれで終わるものと彼らは予想していた。(初代文集 324,325)

ユダヤ人たちは弟子たちがイエスと同様の奇跡を行うことができることに驚愕した。彼らはイエスが死なれたので、このような驚くべき現れはみなこのお方と共に止むものと思っていた。しかし、ここに四十年間足がきかず治る見込みのなかったこの男が自分の四肢を存分に用いて喜び、痛みもなく、イエスを信じて幸福を感じている。

使徒たちは人々が驚いているのを見て、彼らになぜ彼らの目撃した奇跡にそれほど驚き、彼らのしたこのことが、あたかも彼ら自身の力を通してなされたかのよう、に恐れをもっているのかと尋ねた。ペテロはそれがナザレのイエス、すなわち彼らが拒み、十字架につけたが、神が三日目に死からよみがえらせたお方の功績を通してなされたのだということを彼らに保証した。(預言の霊 3 巻 276,277)

今日、キリストと協力する

「〔ペテロは言った、〕イエスの名が、それを信じる信仰のゆえに、あなたがたのいま見て知っているこの人を、強くしたのであり、イエスによる信仰が、彼をあなたがた一同の前で、このとおり完全にいやしたのである。」(使徒行伝 3:16)

イエスがご自分の奇跡を働かれた方法と、このお方の弟子たちのそれとは非常に異なっていた。このお方の言葉はご自身のうちにある力を所有しておられるお方としての言葉であった。「きよくなれ」、「平安あれ」。またこのお方は、あたかもご自分の奇跡がご自身の力によって、ご自分の栄光のためになされなかったかのよう、これらの機会にご自分に捧げられた誉れを受けることをためらわれることも、人々の思いをご自身からそらそうともなさることもなかった。しかし、弟子たちはただイエスのみ名によってのみ奇跡を行ったのであり、わずかといえど誉れを自分自身に受けることを拒んだ。彼らはユダヤ人が十字架につけたが神がよみがえらせ、ご自分の右に高められたイエスの器にすぎないと主張した。このお方こそ、すべての誉れと讃美を受けなければならなかった。(預言の霊 3 巻 277)

ある人はわたしに「なぜわたしたちに治療院が必要なのですか。なぜわたしたちは、キリストのように、病人のために、彼らが奇跡的に癒されるように祈らないのですか」とたずねた。わたしは、「わたしたちがすべての場合にそれをなすことができるとしたら、何人の人がその癒しを感謝するでしょうか。癒された人々は健康改革者になるでしょうか、あるいは健康破壊者でい続けるでしょうか」と答えた。

イエス・キリストは偉大な癒し主であられる。しかし、このお方はご自分の律法と調和して生きることによって、わたしたちが健康の回復と維持においてご自分と協力するように望んでおられる。癒しの働きと結合して、彼らはどのように誘惑に抵抗するかという知識を与えることがなくてはならない。治療院に来る人々は、真理の神と調和して働く自分自身の責任感に目覚めるべきである。

わたしたちは癒すことができない。わたしたちは体の病気の状態を変えることはできない。しかし、医事伝道者として、神との共労者として、このお方が備えられた手段を用いることがわたしたちの分である。それから、わたしたちは神がこれらの手段を祝福して下さるように祈るべきである。わたしたちは神を信じる。わたしたちは祈りを聞き、答えて下さる神を信じるのである。(医事伝道 13)

9月26日

癒しのための信仰

「あなたがたの中に、病んでいる者があるか。その人は、教会の長老たちを招き、主の御名によって、オリブ油を注いで祈ってもらうがよい。信仰による祈は、病んでいる人を救い、そして、主はその人を立ちあがらせて下さる。かつ、その人が罪を犯していたなら、それもゆるされる。」(ヤコブ 5:14, 15)

多くの人々がわたしの語るのを聞き、わたしの読み物を読んだが、だれもわたしが奇跡を働くと主張するのを聞いた人はない。わたしはときに病人のために祈るために呼ばれて、主のみ言葉が立証されてきた。〔ヤコブ 5:14,15〕。キリストは奇跡を働かれる偉大なお方である。このお方にすべての栄光を帰せよ。

キリストが働かれた方法は、み言葉を宣布し、癒しの奇跡的な働きによって苦しみを和らげることであった。しかし、わたしたちは今この方法では働くことができないことを教えられた。なぜなら、サタンが奇跡を働くことによって自分の力を行使するからである。神の僕たちは今日、奇跡という手段によって働くことはできない。なぜなら、神のものと主張して、偽の癒しの働きがなされるからである。

この理由により、主はご自分の民が、み言葉の教えと結合させる身体的な癒しの働きを進めるべき方法を明らかにしてこられた。そしてこれらの施設は、純粹な医事伝道の働きを進める働き人たちと結びつくべきである。こうして防護する感化力が治療のために治療院に来る人々の周りを取り囲むのである。

これが多くの魂のためになされるべき福音の医事伝道の働き的手段として主が備えられたことである。

過去の苦悩と天の栄光が混ぜ合わされるときに地上に生きる神の民の経験をいくぶんでも考えることは不可能である。彼らは神のみ座から出る光のうちは歩む。御使たちという手段によって、天地の間には絶えず交信がある。そしてサタンは悪天使たちに囲まれて、神だと主張しながら、選民をも欺こうとあらゆる種類の奇跡を働くようになる。神の民は奇跡を働くことに自分たちの安全を見出すことはない。なぜなら、サタンはなし得る限りの偽の奇跡を働くからである。(ℳケッド・メッセージ 2 巻 54,55)

病人のために祈る

「だから、互に罪を告白し合い、また、いやされるようにお互のために祈りなさい。」
(ヤコブ 5:16)

過失が改められたとき、わたしたちは聖霊のお示しのままに冷静な信仰をもってその病人の要求を神に訴えることができる。神は各人の名を知っておられ、この地上に神がみ子をお与えになったのは、ほかならぬその人のためであるかのように各自を心にとめておられる。神の愛は非常に大きく、非常に確実であるから、病人は神に信頼し、喜びを持つように励まさなければならない。身体のことを心配するのはかえって身体を弱らせ病気を招く。病人が陰鬱に打ち勝つならば、回復の見込みが増大する。「主の目は主を恐れる者の上にあり、そのいつくしみを望む者の上にある」からである(詩篇 33:18)。

病人のため祈るときは「わたしたちはどう祈ったらよいかわからない」ことを覚えなければならない(ローマ 8:26)。わたしたちが望む祝福が最上のものか否かはわからない。したがって、わたしたちの祈りには次のような気持ちがなければならない。「主よ、あなたは魂のすべての秘密を知り、これらの人々をよく知っておられます。この人々の仲保者であるイエスは彼らのためにその生命をおささげになりました。彼らに対するイエスの愛はわたしたちが彼らを愛するよりもずっと大きいものです。もし主の栄えとなり、病人の益となるならば、健康が回復するよう、イエスのみ名によってお願い申し上げます。もし回復することがあなたのみ旨でなければ、苦しいときにあなたの恵みが彼らを慰め、そば近くにあなたがおられまして、彼らをささえてくださるようお願い申し上げます」。

神は始めから終りまですべてを知り、あらゆる人の心を熟知しておられる。神は魂の中にあるいつさいの秘密を読み、祈ってもらっている人が生き長らえるとき、その上にきたる試練に耐えられるか否かをご存じである。またその人の生涯は彼ら自身にとっても、社会にとっても祝福となるか、それとものろいとなるかを知っておられる。わたしたちが熱心に祈りをささげるとき「しかし、わたしの思いではなく、みこころが成るようにしてください」と言わなければならない理由の一つがここにある(ルカ 22:42)。……

神のみこころに従って求めるならば、神はお聞きあげになるということをわたしたちは知っている。それなのに神にゆだねる気持がなく、あまりくどく求めるのはよくない。わたしたちの祈りは命令の形でなく、懇願の形でなければならない。(ミニストリー・オブ・ヒーリング 206～208)

9月28日

体を服従させる

「すなわち、自分のからだを打ちたたいて服従させるのである。そうしないと、ほかの人に宣べ伝えておきながら、自分は失格者になるかも知れない。」(コリント第一 9:27)

もしパウロが不節制から生じる危険のうちにいたとすれば、わたしたちはさらに大きな危険のうちにいる。なぜなら、わたしたちは神のものである自分たちの体と霊においてこのお方に栄光を帰す必要性を彼ほど、感じてみても悟ってみないからである。食べすぎはこの時代の罪である。(教会への証 4 巻 454)

人に説教してきた人々の中である者は、自分自身がクリスチャン品性を完成させてこなかったために捨てられるであろう。彼らは自分たちの働きにおいて、魂を救わなかったし、自らの魂でさえ救うことに失敗した。彼らは自分を知ることと自製の重要性を悟っていない。彼らは自分たちが誘惑に陥らないために見張らず、祈っていない。もし彼らが見張っているならば、彼らは自分たちが最も誘惑に攻撃されやすい弱点を知るようになる。見張り、祈ることによって、彼らの最も弱いところは、彼らの最も強いところとなるように守ることができる。そして、彼らは打ち負かされることなく誘惑に立ち向かうことができる。……ほとんどすべての人が、自己吟味を怠っている。(教会への証 2 巻 511)

もしも、キリストの弟子であると公言する者がみな、真に清められるならば、彼らの財産は、無用で有害な道楽のために費やされるかわりに、主の金庫におさめられ、キリスト者は、節制と克己と自己犠牲の模範となるであろう。そのとき彼らは、世の光となるのである。

世界は、あげて放縱に陥っている。「肉の欲、目の欲、持ち物の誇」が大多数の人々を支配している。しかし、キリストの弟子たちは、より聖なる召しを受けている。(各時代の争闘下巻 205)

み摂理は、神の民が世界の浪費の習慣から、食欲と情欲の放縱から、自分たちの立場を自己否定と万事における節制という土台におくように導いてきた。神が導いておられる民は特別な民となる。彼らは世とは似ていないものとなる。かえって、もし彼らが神の導きに従うならば、彼らは神のご目的を果たし、自分たちの意志を神のみ旨に明け渡すのである。キリストが心のうちに宿られる。神の宮は聖なるものとなる。(健康への勧告 74)

ほとんど知られていない健康の秘訣

「わたしが選ぶところの断食は、悪のなわをほどもき、くびきのひもを解き、しえたげられる者を放ち去らせ、すべてのくびきを折るなどの事ではないか。また飢えた者に、あなたのパンを分け与え、さすらえる貧しい者を、あなたの家に入れ、裸の者を見て、これを着せ、自分の骨肉に身を隠さないなどの事ではないか。そうすれば、あなたの光が暁のようにあらわれ出て、あなたは、すみやかにいやされ」(イザヤ 58:6-8)

善を行うことは病気のためのすばらしい治療法である。(レビュー・アンド・ヘラルド 1881年8月16日)

人類のための無我の奉仕のうちに自らを神に明け渡す人はみな、栄光の主と協力している。この思想は、すべての労苦を快いものとし、意志を支え、何が起こってもそれに対して精神に勇気を与える。無我の心で働き、キリストの苦しみにあずかる者となることによって高められ、このお方の同情にあずかりながら、彼らはこのお方の喜びの知らせが盛り上がることを助け、このお方の高められたみ名に栄誉と讃美を帰す。神と、キリストと、聖天使たちとの交わりのうちに、彼らは天の雰囲気に入れられ、雰囲気が体に健康を、知性に活力を、そして魂に喜びをもたらすのである。

体と魂と霊を神の奉仕に捧げるすべての人は、絶えず新しい身体的、精神的、霊的力の資質を受けるようになる。天の無尽蔵の供給は彼らの意のままである。キリストはご自身の霊の息と、ご自身の命の命を与えて下さる。聖霊は心と思いの中に働くためにその最高のエネルギーを出して下さい。(福音宣伝者 513)

あなたが勇気と忍耐力に満ちて、たえず自己否定を表し、神のために固く立つとき、天から御使たちが、この〔カリフォルニアのフェマンド〕学校のうちに来てくれる。彼らはあなたを守ってくれる。あなたが神の戒めを守るので、あなたの健康は神の御目に尊いものとなる。(説教と講和 1巻 330)

主はあなたに神聖な委託物としてあなたの命をお与えになった。病人を訪ねなさい。貧しい者や悲しんでいる者を慰め、彼らに憐れみ深い贖い主について語りなさい。この働きはあなたに体の健康と思いの平安をもたらす。あなたの顔つきは無我の奉仕の報いとしてもらたられる喜びを反映するようになる。(ユース・インストラクター 1902年2月13日)

9月30日

その家にだれが住むか？

「イエスは十二弟子を呼び集めて、彼らにすべての悪霊を制し、病気をいやす力と權威とをお授けになった。また神の国を宣べ伝え、かつ病気をなおすためにつかわして」(ルカ 9:1, 2)

数年前に、前回南部に訪問した際、長い車中で、わたしはときどき通り過ぎているこれらの家に住んでいるのはだれかと尋ね、南部の大きめの家々の多くには、大きな地位を占める重要な責任を担った人々が住んでいることを知った。さらに尋ねて、わたしはだれ一人これらの人々の前に命の言葉を伝えようとしたことがないことを知った。だれも聖書を手に持って彼らのところに行き、「あなたのために貴重なものがあります。そしてぜひこれを聞いていただきたいのです」と言った人はいなかった。いま、わたしの前にくり返し、これがなされなければならない働きの分野であることが提示された。わたしたちは大路やかきねに出て行って、キリストがわたしたちに下さった真理のメッセージを人々に伝えなければならない。わたしたちは多くの人を無理やりに連れてこなければならない……

主はすべての水のほとりにまくために、ご自分の民に伝道の働きの様々な分野に取りかかるように召しておられる。わたしたちは自分たちの隣人や友人の間で、このお方がするようにと望んでおられる働きのわずかな部分しかしていない。貧しい人、病人、あるいは死別した人への親切によって、わたしたちは彼らへの感化力を得ることができる。こうして神聖な真理が彼らの心へ届く道を見出す。このような奉仕の機会の一つも活用せずにやり過ごしてはならない。これはわたしたちができる最高の伝道の働きである。愛と同情のうちに真理を戸別に提示することは、キリストがご自分の弟子たちを始めの伝道旅行に送りだされたときの指示と調和している。(福祉伝道 72-74)

主が今教会に取りかかるようにと召しておられるわたしたちの最も手近にある働きがこれである。わたしたちは「だれがわたしの隣人か」と言って立ってはいならない。最もわたしたちの同情と助けを必要としている人がわたしたちの隣人であることを覚えていなければならない。……境界線も、人工的な区別も、身分制度も、上流階級もない。(教会への証 6 巻 294)

わたしたちの民の中でさらに何千人もの人に、わたしたちが生きている時代と現場や戸別訪問でなされるべき働きについての自覚があればよいのだが。(ビュー・アンド・ワールド 1903 年 6 月 2 日)

Good Way Series 研究 2-1



教会と残りの民 (I)

わたしたちの救い主イエス・キリストの再臨という祝福に満ちた望み、すなわち「ご自分の花嫁なる教会を迎えて、その故郷につれて行くために」救い主が来られるというメッセージは、黙示録 14:6 ～ 12 の三天使のメッセージにおいて最も重要な基礎となっています。主が来られるとき、ご自分の真の従者たち、すなわち「しみも、しわも、そのたぐいのものがいっさいなく、清くて傷のない、栄光の姿の教会」をご自分のものとして迎えられます (エペソ 5:27)。また、主が来られるとき、主がそのような教会をこの地上で見いだされることは、そこにわたしたちがいようとまいと、疑いの余地はありません。「教会が世の光であるイエスの光を受け、インマヌエルの栄光に輝き、全く変えられた体となることができるように、キリストはあらゆる準備をなさった」(キリストの実物教訓 395)。自分の救いのために、わたしたちはたしかにこの教会の一員になりたいのです。

多くの聖書のみことばと預言の霊の書物は、わたしたちの注意をこの忠実な残りの民に集中させています。なぜなら、この残りの教会が終末時代の預言の描写の中に確かな位置を占めているからです。そのため、預言の光の中で、どんな教理的な議論も、それがキリストの再臨の直前に生存している残りの教会を確認するのに役立つときに初めて意味を持ちます。…

このことについてわたしたちは、カトリック教会の友人たちの考え方に注意しなければなりません。さもないと、わたしたちも彼らの誤りを繰り返すことになるからです。カトリック信徒たちは、キリストが「わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てよう。黄泉の力もそれに打ち勝つことはない」と言われたマタイ 16:18 のみ言葉を読んで、ローマ・カトリック教会の無謬説を主張します。彼らは条件

を(マタイ 7:16～27、コリント第一 3:11～15、ヨハネ 8:31,32、ヨハネ第二 9、歴代志下 15:2、イザヤ 8:20 等)を考慮せず、また適切な預言(テサロニケ第二 2:3、4、黙示録 2:13、20、21:17、1～5、18:4、5)を考えることもないのです。そして、憂慮すべきことに誤って適用する実例の中で、彼らは自分のものではないしかるべき聖句(マタイ 16:18、18:17、28:20)を自分自身のものとして受け取り、自分たちが「教会」であり、最後まで倒れることがないと主張するのです。わたしたちはアドベンチストとして、同様な誤った見解にまきこまれていないでしょうか。明らかにバプテスマのヨハネがユダヤ人たちに警告した僭越の罪(マタイ 3:9)は、その時代に限ったものではありませんでした。(キリストの実物教訓 283～286 をお読みください)。

預言の霊の書物の中で用いられている通り、「教会」という言葉はその文脈に示される通り、別の意味があります。次にいくつかの例があります。

キリストの時代に焦点をあわせるとき、わたしたちはユダヤ教会と初代キリスト教会を区別しなければなりません。

- a. **ユダヤ教会**：イエスはご自分の教会が葉ばかり数多く茂っているが、貴い実のなっていない、いちじくのような状態であるのを見られた(各時代の大争闘上巻 405)。
- b. **キリスト教会**：キリストは生ける岩の上にご自分の教会を建てられた(各時代の希望中巻 181)。

暗黒時代

- a. **ローマ教会**：「第六世紀に至って、法王権は確立した。その権力の座はローマに置かれ、ローマ司教が全教会の首長であると宣言された」(各時代の大争闘上巻 49)。
- b. **迫害された残りの教会**：「幾世紀にもわたる迫害、闘争、暗黒の中にあって、神は教会を支えてこられた」(患難から栄光へ上巻 3)。

最後の時代

- a. **墮落した全キリスト教会**：「教会は、政権の強大な権力に訴える。そして、この働きにおいて、カトリックとプロテスタントは提携する」(各時代の

争闘下巻 377)。

- b. **改革されない SDA の大多数の群れ**：「教会は世俗を招き入れ、きずなを結び、結婚するようになってはならない。この方法によって、教会は真に墮落し、黙示録に示されたように『あらゆる汚れた憎むべき鳥の巣くつ』となるのである」(牧師への証 265)。「真理の清いしるしを受け入れる人々は、…教会の中で『行われているすべての憎むべきことに対して、嘆き悲しむ』人々である」(3 T 267)。「教会はどこで墮落に陥ったかを悟るだろうか」(レビュー・アンド・ヘラルド—extra1890 年 12 月 23 日)。
- c. **改革した SDA の少数の群れ**：「教会は今にも倒れるかのように見えるが倒れはしない」(セレクトド・メッセージ 2 巻 380)。「教会はキリストの義の武具をまとして、最後の争闘を始めなければならない」(国と指導者下巻 326)。「その時キリストの教会は『月のように美しく、太陽のように輝き、恐るべき事、旗を立てた軍勢のよう』に見えるであろう」(教会への証 5 巻 82)。

このような相違点を心に留めるなら、大きな問題となる不必要な混乱は避けられるでしょう。

喜びに満ちながら舞っています。

それから、何でしょうか?聞いてごらん下さい!ついに沈黙が破られました。いたるところから、歌声が聞こえてきました。鳥たちが歌っているのです!大気はそのうるわしい歌で満たされています。青空の上の方からは、ひばりの美しいさえずりが聞こえます。森の奥深くからは、ナイチンゲールの美しい歌や、カナリヤの楽しげなトリルの歌声。近くではすずめがさえずり、はとがのどを鳴らし、カッコウ、草原ひばり、フタオビチドリ、ホイッパーウィルヨタカが、自分たちを創造して下さったお方への賛美に楽しげな歌をうたっています。なんというすばらしいハーモニーでしょう!

「夕となり、また朝となった。第五日である。」(創世記 1:23)

人参のドレッシング レシピ

■材料

人参	1本
玉ねぎ	1 / 2 個
ニンニク	一片
オリーブオイル	100ml
レモン汁	一個分（絞る）
しょうゆ	50 ～ 60ml
砂糖	大さじ 2 杯

■作り方

材料をミキサーかフードプロセッサにかける

教会プログラム (毎週土曜日)

安息日学校 : 9:30-10:45 (公開放送)

礼拝説教 : 11:00-12:00 (公開放送)

午後の聖書研究 : 14:00-15:00

【公開放送】 <http://www.4angels.jp>



聖書通信講座

※無料聖書通信講座を用意しております。

□聖所真理



お申込先 : 〒350-1391 埼玉県狭山郵便局私書箱 13 号「福音の宝」係
是非お申し込み下さい。

書籍

【永遠の真理】聖書と証の書のみに基づいた毎朝のよみもの。



【安息日聖書教科】は、他のコメントを一切加えず、完全に聖書と証の書のみに基づいた毎日の研究プログラムです。



聖書物語

パート1 第12話

沈黙をやぶる一歌(II)

たしかにこのお方で自身、これらのすべての魚をお喜びになったことでしょう。しかし、いったい、どのようにこれほど多くのさまざまな種類をお考えになったのでしょうか。大きく丸々としたイルカや小さな茶色いマス、みごとな青いバショウカジキや本当に小さいミノウ、マンボウ (sunfish) やヒトデ (starfish)、メカジキやイカ、カニや貝、ロブスターやうなぎ。わたしはそれらすべてをとうてい考えることはできません。しかし、神さまはそれらすべてをお考えになったのです。このお方はそれらのかたちを考え、造られました。すべて一日のうちに、あらゆるさまざまな、生き、動き、呼吸する力を持ったすべてのものをです。わたしたちの創造主は、なんとすばらしいのでしょうか！わたしたちはどれほどこのお方をとうとび、このお方をあがめるべきでしょうか！

しかし、何千もの種類の魚をいっぺんに造るだけでは、じゅうぶんではありませんでした。この同じ日に、このお方は鳥も造られました。このお方のすばらしい頭脳は、つばさを広げたわし、豪華な羽毛のくじゃく、楽しい色どりのオウム、マネシツグミのたくみな物まねの技能、そしてコウモリの探知装備を計画されました。



ごらんなさい！それらを見てごらんなさい！なんとすばらしい光景でしょうか！いく百、いく千ものあらゆる大きさや形や色どりの鳥が地上から飛び上がり、つばさを羽ばたかせて、上に下に、あちらこちらに、初めての生きる

(41 ページに続く)